

## 「くにつこミニ」休止後の地域交通の方針について（案）

平成 2 9 年 3 月末で休止している「くにつこミニ」について、今後の地域交通の方針について、福祉交通施策推進庁内連絡会にて検討を重ね、以下の通り方針案をまとめました。

今後は、方針に基づき、地域公共交通会議や対象地域住民、議会、関係機関等と意見交換・検討・協議を行い、具体的な交通システムを構築する考えです。

### 1 今後の地域交通の考え方

#### (1) 対象地域

第 3 中学校及び中央高速国立インター周辺、ママ下湧水公園周辺などの交通不便地域を中心とした地域とします。

#### (2) 対象者

対象地域の居住者で単独、若しくは付添と一緒にであれば、一般の乗用車を利用可能な方を対象とします。

#### (3) 運行形態

デマンド型交通システムとします。

※デマンド型交通とは、路線バスとタクシーの中間的な位置にある交通形態で、事前予約により運行を行うことが基本です。運行方式、運行ダイヤや発着地の自由度の組み合わせにより、多様な運行方式があり、利用目的や潜在需要、人口密度・分布状況、道路状況や地理的条件などにより選択肢が変わってきます。

### 2 デマンド型交通導入に向けた考え方

#### (1) 事業の進め方

- ・導入にあたって、委託業務により、地域のニーズ調査や試乗会を開催し PR を行いながら、サポーターとなる地域組織の立上げを検討します。また、セダン型車両を基本とした実証運行を行い、市独自の運行形態や評価基準などを決定します。
- ・導入事業化調査後に、1 年未満の試行運行を実施し、運行期間内に地域公共交通会議で評価を行い、事業評価結果を公表し、対象地域住民・議会の意見等を聴衆し、次年度以降の事業計画を決定します。

#### (2) 委託業者の選定方法

プロポーザル方式により導入事業化調査委託業者を選定し、試乗会・実証運行の運行経費は委託費に含むこととします。

#### 4 スケジュール

- 「くにっこミニ」休止地域住民と意見交換
  - 5月20日（日）（南区公会堂）実施済
  - 5月29日（月）（中平防災センター、坂下公会堂）
  - 6月 1日（金）（東福社会館）・
- 6月定例会・・・・・・・・建設環境委員会へ方針案を報告
- 7月～8月・・・・・・・・対象地域で方針案について、意見交換会を開催
- 12月～・・・・・・・・導入事業化調査委託実施（デマンド型交通の試乗会、対象  
平成31年3月 地域ワークショップ（サポーター組織立上げ）、実証運行・  
運行形態の決定・評価基準設定）
- 平成31年度・・・・・・・・試行運行実施・評価・見直し
- 平成32年度・・・・・・・・本格運行（評価基準に達した場合）